

令和3年度
探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業

研究・実践の中間報告

令和4年2月18日(金)

北広島町立芸北中学校区研究推進地域

【報告の流れ】

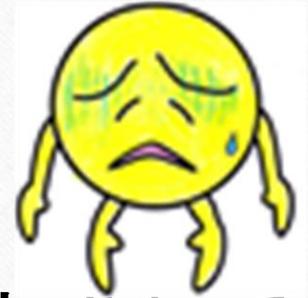
I 研究について

II 今年度の取組

III 成果と今後に向けて

I 研究について

1 主題設定の理由(昨年度までの実践の課題)



① 単元のゴール設定が教師主導

→ 児童・生徒の課題意識や必要感を引き出しきれていない

② H29作成「身に付けさせたい資質・能力の系統表」

→ 現在の児童・生徒実態に合っているのか！？

③ 指導者の主観に頼る評価

→ 客観的に評価することができる指標が必要

I 研究について

2 研究主題

児童・生徒自らが探究する生活科・総合的な学習の時間の創造

～身に付けさせたい資質・能力の系統表の作成と

ルーブリックによる評価を通して～

3 研究内容

- ① 児童・生徒に身に付けさせたい資質・能力の再検討
(系統表の作成)
- ② 評価の在り方の研究(ルーブリックの作成)
- ③ 児童・生徒が自ら探究したくなるような生活科・
総合的な学習の時間の単元開発・授業改善



Ⅱ 今年度の取組

① 児童・生徒に身に付けさせたい資質・能力の再検討

● 資質・能力の整理

芸北小・中学校が児童・生徒に身に付けさせたい資質・能力	学習指導要領が示す育成すべき資質・能力の3つの柱
自己回復力 協働する力 課題解決力 安全・安心をつくる力	知識及び技能
多面的・多角的な見方・考え方	思考力・判断力・表現力等
意志力	学びに向かう力・人間性等

● 系統表と全体計画の修正

Ⅱ 今年度の取組

② 評価の在り方の研究(ルーブリックの作成)

小・中合同研修(西部教育事務所芸北支所教育コンサルティング)

1	2	3
<p>⑨ 保サポの人に言われたことができた。</p> <p>② みんなが褒めてくれたのでしっかりと木を切ることができました。</p>	<p>① 手伝ってと言われる前に自分からお手伝いに行った。</p> <p>⑤ 周りを見て自分のやるべきことはないかと思えた。</p> <p>⑦ 今回は、しっかり大人に声をかけ、手伝ってもらうことができました。</p>	<p>④ 保護者の人に「手伝ってください」と言ったら「はい、喜んで」と逆にうれしがってくださいました。わたしもうれしくなりました。</p> <p>③ 作業が大変なとき、せどやさんは「やろうか？」と言って下さる。このように問いかけて下さるから私たちは問いかけられるまで待つてしまう。</p> <p>⑥ 自分たちがやっているときに、保サポの人が木を持ったりして私たちよりも先のことを考えて下さっていた。</p>

自分↓周り↓自分

自発的
新しい視点×

次につなげる
新しい視点○

受け身

周り→自分

⑧ 6年生さんが「できるよ」「すごい」とほめてくれた。次回は私がほめることをしようと思う。

⑩ 3ターン目にせどやさんが速く切る勝負をしてきてくれた。自分たちがテンションを上げると、自然にせどやさんたちのテンションもあがる。



振り返りを書かせることの大切さ
⇒書く力をつける

Ⅱ 今年度の取組

② 評価の在り方の研究(ルーブリックの作成)

芸北中学校

中3総合「芸北マルシェ」

ルーブリック(第2案)

「思考・判断・表現(多面的・多角的な見方・考え方)」を評価するルーブリック(R3年度 第3案)

北広島町立芸北中学校

	レベル1	レベル2	レベル3
能力記述文	<p>○活動を通し、内容(=活動したこと)の振り返りができている。(例:～ができた。できなかった。)</p> <p>○自らの意見を中心に考えようとしている。</p>	<p>○活動を通し、様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分との比較をしたり、他者との比較をすることで、自己の成長や課題に気づくことができている。</p> <p>○他のメンバーとコミュニケーションをとりながらアイデアを出し、前向きに物事を捉え、進めようとしている。</p>	<p>○活動を通し、様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分との比較をしたり、他者との比較をすることで、自己の成長や課題に気づき、視点を柔軟に転換することで、これからの生活に役立てようとしている。</p> <p>○他のメンバーとコミュニケーションをとりながらアイデアを出し、具体的な案を提案し行動しようとしている。</p>

Ⅱ 今年度の取組

② 評価の在り方の研究(ルーブリックの作成)

芸北小学校

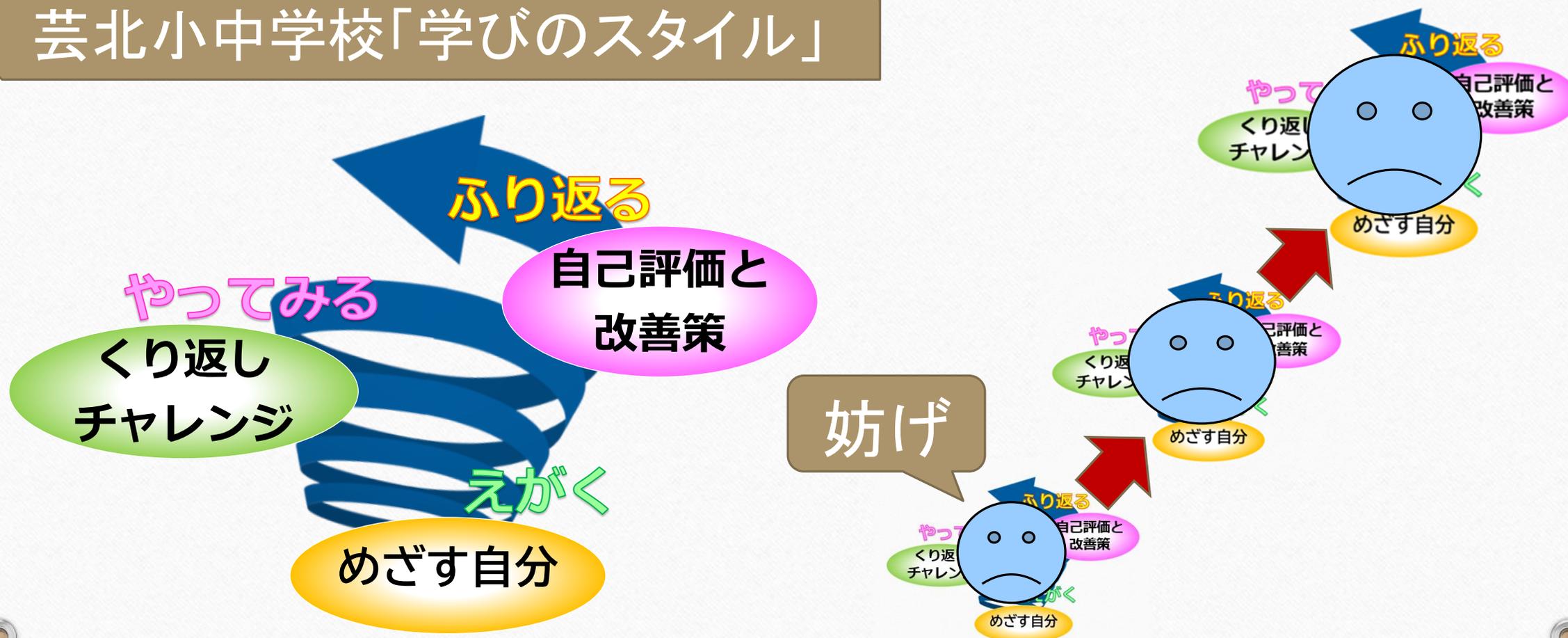
小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

資質・能力		C	B	A
知識・技能	自己回復力	ストレスを感じるとやる気を失い、自分なりの方法で学習意欲を回復できていない。	ストレスを感じても前向きに考え、自分なりの方法で学習意欲を回復している。	あらゆる場面においてストレスを感じても前向きに考え、多面・多角的に考えた方法で学習意欲を回復している。
	協働する力	課題解決に向けての自分の役割がわからず、他者の協力を得ることができていない。	課題解決に向けての自分の役割を理解し、他者の合意を得て、協力を得ながら活動を進めている。	課題解決に向けての自分の役割を理解し、他者の合意を得て、リーダーシップを取りながら活動を進めている。
		自ら考えたり、動いたりせず、自分の役割を最後までやり切ることができていない。	自らわからないことを聞いたり、考えたりしながら、自分の役割をやり切っている。	互いに高め合ったり、助け合ったりしながら、自分の役割を最後までやり切っている。
	課題解決力	芸北の活性化に向けて、課題解決の過程(課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現)を適用させながら課題を解決できていない。	芸北の活性化に向けて、課題解決の過程(課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現)を適用させながら課題を解決している。	芸北の活性化に向けて、課題解決の過程(課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現)を、より効果的に適用させながら課題を解決している。
安全・安心をつくる力	インターネット利用や情報発信の際に危険を防ぐ方法を理解していない。	インターネット利用や情報発信の際に危険を防ぐ方法を理解している。	インターネット利用や情報発信の際に危険を防ぐ方法を理解し、安全に利用している。	
思考・判断・表現	多面的・多角的な見方・考え方	視点や尺度、発想等を転換しながら人や物事を柔軟に捉えることができていない。	視点や尺度、発想等を転換しながら人や物事を柔軟に捉えている。	視点や尺度、発想等を転換しながら人や物事を柔軟に捉え、その考えの良さを自分の言葉で説明している。
主体的に学習に取り組む態度	意志力	「めざす自分」や学習のめあてを考えた行動ができず、人任せな行動をしている。	「めざす自分」や学習のめあてを考え、計画に合わせて、意欲的に行動している。	「めざす自分」や学習のめあてを考え、試行錯誤しながらよりよい方法を選び、他者と協力して、実行に移している。
		振り返りが単なる感想で終わり、現状の把握や計画の修正ができていない。	現時点の取組を振り返り、達成できた理由や修正点に気づき、次につながる行動を考えることができる。	現時点までの過程を踏まえた振り返りを行うことができ、さらに先を見通した改善策を考えて計画を修正することができる。

Ⅱ 今年度の取組

- ③ 児童・生徒が自ら探究したくなるような生活科・
総合的な学習の時間の単元開発・授業改善

芸北小中学校「学びのスタイル」



Ⅱ 今年度の取組

③ 児童・生徒が自ら探究したくなるような生活科・ 総合的な学習の時間の単元開発・授業改善

えがく

めざす自分

作戦

さまたげ

芸北小学校「総合的な学習」ワークシート

活動名	学年
「めざす自分」(自分の目標) みんなで協力し、課題を見つけ、芸北をより良くしよう。 (協働) (課題解決力) (がんばる)	芸北をよ
「めざす自分」の選択理由 一人で悩まず ↓ だからみんなと協力して考える。 (自分からいろいろな意見を言うように努力したい)	学
「妨げ」 課題が解決できず分からない。 (原因を見つけること)	

この手立てのよさ (学習活動の目標との関連)

原因をさぐるために、しっかりと活動を見直す。	課題解決力
まちがえてもいいから、思ったことは言う。	意見が広がる。
人の意見をしっかりと聞き、深める。	自分の意見が広がる。
まずはやってみる。	失敗は成功のもと。
勇気を出して言う。	自信がつく

Ⅱ 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

《活動の概要》 芸北のために自分たちにできることを考えて実行する。

1節 芸北で暮らす人々の思いや願いを知ろう。

2節 芸北をより良くするためのプロジェクトを考え、提案しよう。

3節 プロジェクトを実行して、より良い芸北の未来につなげよう。

【単元構想シート】 所属・作成者（ 芸北小学校・湊 純子 ）

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

校種・学年 小学校・第6学年

教科等 総合的な学習の時間

単元（題材）名 芸北での学びを生かして～Youは何する芸北で?～

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

- Q. 10年後も住みたいと思うのは、どんな芸北だろう？
A. 自然と共存しながら、人とのつながりを大切に、自分が幸せだと思う暮らしができる芸北。

② 単元を貫く問い（単元を通して考え深めていく「問い」）

芸北をより良くするために、自分たちにできることは何だろう。

③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ① これまでにどんなことを学んだだろう。どんなところが成長しただろう。
- ② 芸北の良いところはどこだろう。もっとこうなってほしいと思うところはどこだろう。
- ③ 芸北で暮らす人は、どんな思いや願いを持っているだろう。
- ④ 芸北で暮らす人の願いを実現するために、何が出来るだろう。
- ⑤ 取り組んだことは、芸北で暮らす人の願いを実現することにつながっただろうか。

単元計画の
構想を立てる

- 第1節 芸北で暮らす人々の思いや願いを知る。
- 第2節 芸北をより良くするために考えた方法を提案する。
- 第3節 考えた方法を実行する。

Ⅱ 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

1節 芸北で暮らす人々の思いや願いを知ろう。

地域の方にアンケート調査

アンケート用紙の
QRコードを読み取り、
グーグルフォーム
からも回答可

341名からの回答
(芸北在住213名)

整理・分析



Ⅱ 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

地域で活躍されている方々の話

「便利」も豊かさだけど、
芸北での生活の中にある「おいしい」「楽しい」等も豊かさだと思います。

様々な考えの人がいるので、すり合わせるのが難しいです。目的を確かめることや、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を聞いたりすることを大切にしています。



芸北の食材で「イタリアン精進料理」

着物を「もんぺ」にリメイク

Ⅱ 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

2節 芸北をより良くするためにプロジェクトを考え、提案しよう。

プロジェクト名 「芸北未来プロジェクト」

ゲストティーチャーに相談

アドバイスを参考に工夫・改善



空き教室をコワーキングスペースにする。



考えたことはクロームブックでまとめる。

Ⅱ 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

リハーサル



他チームの良い点や
改善点を意見交流

ゲストティーチャーさんからもアドバイス



Ⅱ 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

本番

芸北の良い所を知ってもらおう
～人口を増やして芸北を盛り上げたい～

芸北の自然を大切に
～みんなで楽しいゴミ拾い～



芸北をもっと元気に!
～芸北の魅力を届けよう～



Ⅱ 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

3節 プロジェクトを実行して、より良い芸北の未来につなげよう。

ゴミ退治

ゴミを一番
多く拾った
チームを表彰



参加賞も
プレゼント



Ⅱ 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

プロジェクトの結果を地域全戸に配布

<h3>芸北未来プロジェクト便り</h3>	令和4年2月 芸北小学校6年生
-----------------------	--------------------

芸北での学びを生かして

私たちは、これまで芸北でたくさんのことを学びました。そのことを生かして、芸北のために何かしたいと考えました。そこで、地域の方は芸北をどう思っているのかを知るために「**芸北アンケート**」を行いました。すると、芸北以外の方も合わせ**800件**以上の回答をいただくことができました。ありがとうございました。

その中の「**これからどういう地域になってほしいですか**」という質問では、どの年代にも「**自然を大切にする地域**」などと、自然保護についての回答が多くありました。私達も「**芸北の豊かな自然を守ってみたい**」と思い、「**ゴミ退治**」というプロジェクトを企画しました。

いざ「ゴミ退治」へ!

「ゴミ退治」は、12月16日に実施しました。参加者は、芸北の皆さん(地域の方、ゲストティーチャーさんなど)と芸北小学校6年生です。芸北小学校周辺の道路にポイ捨てされたゴミを、4つのチームに分かれて拾い、拾ったゴミの量を競いました。1番多かったチームには、自然護衛認定証を渡しました。両の中でしたが、たくさんの方に協力していただきました。



↑15人の地域の方に参加していただきました。

↑こんなにたくさんのゴミがありました。

【児童の振り返り】

○「どうすれば(プロジェクトを)楽しく出来るのか」「(提案を)分かりやすくできるのか」など、友達と意見を出し合ったり、分担して計画したりすることができた。また、同じチームの人の意見もだんだん取り入れられるようになった。(協働する力)

○「なぜうまくいかないのか」と問題点を考えて、次は「どうやったらうまくいくか」を考えて実行することができた。(課題解決力)

○この力は、プロジェクトを一つにしぼる時に使ってたくさん成長できたと思う。買う人になったりやる人になったりしてたくさん考えたり質問したりすることができた。(多面的・多角的な見方・考え方)

Ⅱ 今年度の取組

中3総合「芸北マルシェ」

《活動の概要》 芸北の資源を使ってものづくり

えがく

1. 芸北の良さ, 課題について考える。
(芸北地域の将来の人口など)
2. 芸北の資源について学ぶ(外部講師の方を招聘)
3. 商品開発 等
4. モニタリング
5. 商品販売(道の駅)
6. 振り返り

やってみる

ふりかえる

Ⅱ 今年度の取組

中3総合「芸北マルシェ」

1. 芸北の良さ, 課題について考える。(芸北地域の将来の人口など)

Qなぜ, 芸北マルシェをするのか。

芸北の良いところと課題

《課題》
若者が少ない



《良いところ》
自然豊か

Ⅱ 今年度の取組

中3総合「芸北マルシェ」

2. 芸北の資源について学ぶ

外部講師として地元の方に来校していただく

芸北の資源についての講義



新たな視点・新たな選択肢

- 自分たちで材料を集め商品を作る。
- 既存の材料を取り寄せ，商品を作る。
- 加工・販売されているものを，さらに価値づけて販売する。

Ⅱ 今年度の取組

中3総合「芸北マルシェ」

3. 商品開発 等



ハーバリウムを作りたい。
オイルにカビが生えてしま
うのはどうすれば予防でき
るかな。



4. モニタリング

地元の診療所での
モニタリング



Ⅱ 今年度の取組

中3総合「芸北マルシェ」

5. 商品販売(道の駅)



6. 振り返り

(生徒のワークシートより)

○私の目指す自分の姿は課題解決力でした。始めたときに売れなかったときは焦ったが、値段設定を工夫したらお客さんが来るのではと思いつき、実行することができた。

○販売の日、お客さんが一度にたくさん来たときの対応の仕方を考えてなかったなので、同じ会社のメンバーと、色々な状況を話し合っておけばよかった。

Ⅲ 成果と今後に向けて

1 成果

- 「身に付けさせたい6つの資質・能力」を「3つの柱」に整理
 - 目標設定や評価が行いやすくなった
 - 資質・能力の系統表と「総合」の全体計画も修正
- ルーブリックによる評価について研修
 - ルーブリック(試案)を作成
- 単元開発または既存単元のブラッシュアップ
 - 探究的な学習の在り方についての理解を深めた

Ⅲ 成果と今後に向けて

2 今後に向けて

- 「身に付けさせたい資質・能力」と「資質・能力の系統表」の修正を継続
- ルーブリックの作成→ルーブリックによる評価→修正
- 児童・生徒が自ら探究する学びとなるような指導の在り方を研究
→新規単元・既存単元のブラッシュアップ



ご清聴ありがとうございました